

PKO閣僚級会合 藤井副大臣ステートメント

ご列席の皆様、

我々は、PKOの将来及びPKOが如何に一層複雑化する国際情勢に
適応できるかを検討する時を迎えています。今回の閣僚級会合は、我々
のPKOに対するハイレベルな政治的コミットメントを表明する重要な機会
であり、主催国ドイツ及び国連事務局の尽力に感謝します。

閣僚級会合プロセスの共催国である日本は、より一層実効的なPKO
を可能とするため、以下のプレッジを行います。

第1に、国連三角パートナーシップ・プログラム(TPP)の下での訓練・
能力構築支援を推進します。TPPはPKOの将来のための鍵を握っており、
国際的なパートナーシップを体現するものです。また、その枠組みの
柔軟性を通じて、PKO要員が変わりゆくニーズに対応し、PKOが目的に
合致することを可能にします。

施設・医療訓練への教官派遣を継続しつつ、日本は新たに女性の医
療訓練教官を派遣し、また、韓国や豪州といった支援国及びカンボジアと
いった訓練ホスト国と連携し、質の高い訓練を提供していきます。また、
爆発物対処訓練(EHAT)の導入や施設分野のEラーニング化等を通じ、
TPPの更なる拡充を図っていきます。

また、日本は、TPPの下でのAU主導平和支援活動(AUPSO)要員へ
の訓練を支援するとともに、アフリカ諸国のPKO訓練センターへの能
力構築支援も行い、アフリカの平和と安全の維持に対するAUのリーダー
シップとオーナーシップを後押しします。

第2に、日本の知識・知見を共有しつつ、PKOの強化に係る国際的な
議論に貢献します。

国連事務局や南スーダンのUNMISS司令部に対する要員の派遣を
引き続き行います。「PKOのための行動(A4P)」及びA4P+は、ミッシ
ョンのパフォーマンスを測る有益な指標であり、A4P+モニタリング事業を
財政的に支援します。

閣僚級会合プロセスの共催国及びPKO特別委員会の副議長として、
国際平和協力に関するシンポジウムやセミナーを実施し、PKOの将来に
係る議論を推進していきます。

第3に、平和維持から平和構築への円滑な移行を含む、「平和の持続」に向けた全体的なアプローチを推進します。紛争の根本原因に対処することが、紛争に再び陥るリスクを防ぎ、持続する平和を確保する上で重要です。

日本は、平和構築委員会(PBC)の副議長として、PBCの役割と国連諸機関や国際金融機関との連携を強化すべく取り組みます。また、移行を支援する人材を育成するとともに、持続可能な平和の基盤を確固たるものとするべく、現地社会の強靱性を高めていきます。

日本は、第3位のPKO財政支援国であり、PKO予算における義務を果たすため、全額を迅速に支払ってきています。また、様々なプロジェクトに対する任意拠出も行っています。

このような取組を通じ、日本は、PKOがより効率的・実効的なものとなるよう尽力していきます。

ご清聴ありがとうございました。